

◆授業のポイント◆

- ・ 音楽に親しみ、基礎的技能を習得させる授業展開の工夫
- ・ 学習意欲を高めさせる授業展開の工夫

## 音楽科学習指導案

日時 平成21年 5月29日(金) 1校時  
学級 3年5組(男子17名 女子17名 計34名)  
授業者 教諭 寺地郁美

### 1 題材 アルトリコーダーにチャレンジ

教材 交響詩「ブルタバ」 スメタナ作曲 江口泰央編曲

### 2 単元について

#### (1) 題材設定の理由

器楽の学習は、楽器を用いて音楽を表現することで、その特徴は、音色や音量が様々に異なる楽器を用い、美しい音楽を作り上げることにある。小学校時から音楽科の授業において使用されるリコーダーは、誰でも手軽に音を出すことのできる楽器ではあるが、基礎的な奏法が身に付いていないため、十分にリコーダーの音色の美しさを味わえない生徒もいる。また、合奏活動においても、「上手に吹けた」「吹けなかった」という段階で止まってしまうことがほとんどであり、音色を追求する意欲や態度、曲のイメージを生かして表現する技能、豊かで響きのある演奏にするためにはどのような奏法が適切かといったことに対する理解が、まだまだ十分でない。

器楽の活動では、曲想を味わい曲にふさわしい表現を工夫して演奏する能力、楽器の特徴を理解し基礎的な奏法を生かして演奏する能力、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して表現を工夫しながら合わせて演奏する能力を高めていくことをねらいとしている。そこで、学習活動において、基礎的な奏法を確認し、アンサンブルの楽しさやリコーダーのもつ響きの豊かさに気付かせ、表現しようとする意欲や主体的な学習態度を身につけさせたいと考え、本題材を設定した。

交響詩「ブルタバ」の作曲者はスメタナ(1824~1884)であり、チェコ生まれ、国民楽派に属する。交響詩「我が祖国」は6曲からなり、「ブルタバ」はその第2曲目である。美しい自然と伝説に基づいて祖国愛が音楽に表されている。今回は、江口泰央編曲による楽譜を使用する。鑑賞で学習した「ブルタバ」の川の流れや美しい自然の様子をイメージしながら、耳慣れた旋律に取り組むことによって、基礎的なアルトリコーダーの奏法に気を付けさせ、美しい音色でアンサンブルを目指す学習をさせたい。

#### (2) 生徒の実態(アンケート対象: 3年5組 男子16名 女子17名 計33名 回答)

今回の学習に取り組むにあたって、事前調査を実施した。

#### 1. あなたは、リコーダーを演奏することが好きですか。

ア はい(13名)

- 【理由】・吹けるようになると嬉しい ・演奏できると楽しい  
・うまく演奏できるとおもしろい ・演奏することが好き

イ いいえ(20名)

- 【理由】・指使いが難しい ・楽譜が読めない

- ・とにかく苦手
- ・リズムにのって吹けない

2. リコーダーを演奏するときに気をつけていることは何ですか。(複数回答あり)

- ・指使い (28名)
- ・きれいな音を出す (24名)
- ・楽しく演奏する (13名)
- ・姿勢や構え方 (11名)
- ・息のコントロール (11名)
- ・タンギング (10名)
- ・アーティキュレーション (2名)
- ・曲想表現 (強弱記号など) (2名)

3. 「アーティキュレーション」とは何か知っていますか。

- ア 知っている (16名)
- イ 知らない (17名)

本学級は授業に意欲的に参加し、歌唱活動においては、発声は不十分ながらも積極的に歌う姿が見られる。器楽の活動においては、苦手意識をもっている生徒が多く、特に、運指・楽譜の読み取りに課題を抱えている。「アーティキュレーション」においてはこれまでに学習しているが、約半数が理解していなかった。そこで、基礎練習を徹底し、再びアーティキュレーションの学習に取り組むことによって、曲にふさわしい奏法について考え、一人一人の演奏技能を高めるとともに、鑑賞の学習で親しんだ楽曲に取り組ませることによって、スムーズに練習に取り組めるようにしたい。さらに、ペア学習をすることによって、お互いに教え合ったり、助け合ったりして意欲的に取り組み、仲間と合わせる楽しさや音楽の美しさに触れながら、一人一人の生徒が表現する喜びを感じ取れるような指導をしていきたい。

### 3 単元の目標

- (1) アンサンブルに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。
- (2) アーティキュレーションに気をつけて、曲にふさわしい表現の工夫をすることができる。
- (3) 基礎的な奏法を身につけ、アンサンブルすることができる。
- (4) 他の演奏から、曲にふさわしい表現の工夫を感じ取ることができる。

### 4 指導計画 (全3時間)

| 第1時   | 第2時 (本時)  | 第3時   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の構えを確認する。</li> <li>・ Aの部分の階名を書く。</li> <li>・ Aの部分を階名で歌う。</li> <li>・ アーティキュレーションを確認する。</li> <li>・ 運指の確認をする。</li> <li>・ Aの部分をリコーダーで練習する。</li> <li>・ パートを決めて練習する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の構えを確認する。</li> <li>・ 範奏を聴き、曲にふさわしい奏法を考える。</li> <li>・ ペア練習を行い、基礎的な奏法や運指、リズムなどを確認する。</li> <li>・ お互いの演奏を聴き、評価する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の構えを確認する。</li> <li>・ パートごとに合わせる練習をする。</li> <li>・ 声部の役割を理解し、演奏に生かせるように工夫する。</li> <li>・ お互いの演奏をよく聴き、美しいハーモニーを感じながら演奏する。</li> </ul> |

[単位時間における評価規準]

| 時 | 主な学習活動   | 単位時間における評価規準   |                    |  |         |
|---|--|--|--------------------|--|---------|
|   |  | ア 音楽への関心<br>・意欲・態度   | イ 音楽的な感受<br>や表現の工夫 | ウ 表現の技能  | エ 鑑賞の能力 |
| 1 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Aの部分を階名で歌う。</li> <li>2. アーティキュレーションを確認する。</li> <li>3. Aの部分をリコーダーで練習する。</li> <li>4. パートを決めて練習する。</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リコーダーの演奏に関心を持ち、意欲的に練習に取り組んでいる。</li> </ul> |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旋律を階名で歌うことができる。</li> <li>・ リコーダーの運指を間違えずに演奏することができる。</li> </ul> |         |

|           |  |   |  |   |  |
|-----------|--|---|--|---|--|
| 2<br>(本時) | <p>1. 範奏を鑑賞し、曲にふさわしい奏法を考える。</p> <p>2. ペア練習を行い、基礎的な奏法や運指、リズムなどを確認する。</p> <p>3. 相互に聴き合い、自分の演奏に生かす。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 奏法の特徴などに関心を持ち、意欲的に練習している。</li> <li>・ お互いの演奏を聴き合い、自分の演奏に生かそうとしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お互いの演奏を聴く中で、リコーダーの美しい音色や基礎的な奏法を感じ取り、それらを表現に生かして工夫している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リコーダーの基礎的な奏法を身につけて演奏している。</li> <li>・ 自分のパートを演奏することができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リコーダーの音色や奏法の特徴をとらえながら聴き取っている。</li> </ul>    |
| 3         | <p>1. 声部の役割を理解し、それを生かして演奏する。</p> <p>2. お互いの演奏をよく聴き、美しいハーモニーを感じながら演奏する。</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンサンブルの活動に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合わせるおもしろさやハーモニーを感じ取り、表現の工夫をしている。</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各声部の役割を理解し、表現することができる。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合わせることを意識し、ハーモニーの美しさを感じ取ることができる。</li> </ul> |

## 5 本時の学習 (2 / 3)

(1) 教材 交響詩「ブルタバ」 スメタナ作曲 江口泰央編曲

(2) 目標 アーティキュレーションを確認し、曲にふさわしい表現の工夫をする。

(3) 授業設計の工夫

① 音楽に親しみ、基礎的技能を習得させる授業展開の工夫

一斉による基礎練習やペア学習を通して、基礎的な奏法を確認し、意欲的に練習に取り組めるようにする。

② 学習意欲を高めさせる授業展開の工夫

範奏を提示し、曲にふさわしい奏法を考えさせ、自分の演奏に生かせるようにする。また、ペア学習を通して、個々の課題を解決できるように教え合ったり、助け合ったりできるようにする。

(4) 展開

| 過程 | 時間形態     | 主な学習活動   | 指導上の留意点 ◎ 評価<br>※授業のポイントの工夫  |
|----|----------|--|--|
| 導入 | 10<br>一斉 | <p>1 リコーダーのウォーミングアップをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姿勢 (構え方)</li> <li>・ タンギング</li> <li>・ プレスコントロール</li> <li>・ 正しい運指</li> </ul> </div> | <p>○ 学習の構えを確認し、基礎的な奏法に気をつけて演奏させる。</p> <p>※ リコーダーの基礎練習をすることによって、基礎的な奏法を意識させるようにする。</p> <p>◎ 基礎的な奏法を確認することができたか。</p> |
|    | 3<br>一斉  | <p>2 「ブルタバ」のA部分を演奏する。</p> <p>3 本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>アーティキュレーションを確認し、曲にふさわしい表現の工夫をしよう。</p> </div>   | <p>○ 運指やリズムに気をつけて演奏させる。</p> <p>○ 本時の目標と学習の流れについて示し、意欲を高めさせる。</p>   |

|        |          |  |   |
|--------|----------|--|---|
| 展<br>開 | 10<br>一斉 | 4 範奏を鑑賞する。   | ○ 2種類のアーティキュレーションによる範奏を提示し、曲にふさわしい奏法を考えさせる。<br>※ 範奏の提示により、取り組むアーティキュレーションの確認と練習意欲を高めさせる。                                  |
|        | 15<br>ペア | 5 ペア学習をする。<br><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運指の確認<br/>(フラッシュカード)<br/>A 1 → ロ 嬰<sup>・</sup>へ ロ<sup>・</sup><br/>A 2 → ロ 嬰<sup>・</sup>へ 嬰<sup>・</sup>ニ</li> <li>・ リズムの確認<br/>(メトロノーム)<br/></li> <li>・ アーティキュレーションの確認</li> </ul> </div> | ○ 運指・リズム・アーティキュレーションをお互いに確認しあいながら練習させる。<br>※ ペア学習において、運指やリズムの確認など、繰り返し練習したり教え合ったりさせる。<br>◎ 運指や奏法についてアドバイスしながら練習することができたか。 |
|        | 5<br>ペア  | 6 ペアで聴き合って評価する。  | ○ 友達の演奏を聴いて評価し、アドバイスができるようにさせる。   |
| 終<br>末 | 5<br>一斉  | 7 本時の学習を振り返る。  | ○ 本時の学習のまとめとして、全員で演奏させる。<br>○ 本時の学習を振り返らせ、ステップシートに記入させる。  |
|        | 2<br>一斉  | 8 次時の予告を聞く。  | ○ 次時の予告をする。   |